

記入例2 授業料減免後の納入額が、貸付限度額を下回る場合

高等教育の修学支援新制度利用者修学費用の使途計算書

※養成校の規定する額／学則による額／養成校に納付する額

養成校への 学費種類 ※	養成校が規定 する金額 (a)	修学支援新制度 による減免額 (b)	給付型 奨学金 (c)	差引額 (d) (a-b-c)	
入学金	200,000円	50,000円	円	150,000円	150,000円
授業料	2,000,000円	1,500,000円	円	500,000円	900,000円
教材費	100,000円	0円	円	100,000円	
施設費	100,000円	0円	円	100,000円	
実習費	100,000円	0円	円	100,000円	
その他	100,000円	0円	円	100,000円	
計	2,600,000円	1,550,000円	円	1,050,000円	1,050,000円

計算結果

修学資金貸付金 貸付費目	修学資金貸付金 申請額
①入学準備金 (上限20万円)	150,000円
②修学資金 (上限月額5万円)	[計算方法(月額)] 900,000円 ÷ 24か月 = 37,500円(月額) ※10円以下切り捨て
	[計算方法(総額)] 月額37,500円 × 24か月 = 900,000円(総額) ↓ 月額 37,500円 総額900,000円
③生活費加算 (該当者のみ)	0円
④就職準備金 (上限20万円)	200,000円
貸付金申請額合計	1,250,000円